

2026年度 事業計画書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

本年度も、前年度に引き続き、定款第5条に定める公益目的事業の充実を図ります。あわせて、公益財団法人としての適正な管理・運営を徹底し、当財団に対する関係各層の理解を一層深めるため、次の事業を推進します。

1. 助成事業 【予算総額 29,170 千円】

(1) 研究助成金の交付 [予算 26,000 千円]

当財団は、腸内フローラを中心とするバイオサイエンス分野の発展を促進し、健康で豊かな社会の実現に寄与するため、腸内フローラを中心としたバイオサイエンス分野の研究者および研究機関を対象に総額 2,600 万円の研究助成を実施します。

(2) 国際交流助成金の交付 [予算 1,000 千円]

腸内フローラを主体としたバイオサイエンス分野の研究促進を目的として、国内研究者による海外学会等における研究成果発表に要する費用（旅費・滞在費・参加費）および、国内学会・シンポジウム等における海外研究者招聘に要する費用（旅費・滞在費）について、地域に応じて1件当たり 35 万円以内とし、総額 100 万円の助成を実施します。

(3) 選考委員会 [予算 2,170 千円]

選考委員会は、理事長の諮問に基づき、本事業に関する研究助成および国際交流助成の選考審査を行います。

委員は、理事会の議決を経て、理事長が委嘱します。

2. 普及啓発事業 【予算総額 14,750 千円】

(1) 腸内フローラシンポジウム [予算 13,000 千円]

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する普及啓発を目的として、『第34回腸内フローラシンポジウム』を次のとおり開催し、腸内フローラの意義の一層の解明と、最先端の研究成果を広く国内外の研究者等に紹介します。

『第34回腸内フローラシンポジウム』概要

- ・テーマ：腸内フローラと食事・アレルギー

Intestinal Microbiota: Diet and Allergies

- ・開催日：2026年10月23日（金曜日）
- ・場所：ニューピアホール
- ・講師：海外講師3名、国内講師5名

(2) シンポジウム運営委員会、記録集の作成他 [予算 1,750 千円]

シンポジウム運営委員会は、理事長の諮問に基づき、「腸内フローラシンポジウム」のテーマおよび講演講師の選定、ならびに開催・運営・記録に関する指導業務を行います。委員は、理事会の議決を経て、理事長が委嘱します。

3. 調査研究事業 【予算総額 110 千円】

腸内フローラを中心としたバイオサイエンス分野における基礎技術の最新の研究動向と、生体機能における意義を把握することを目的に、専門研究者や学識経験者の知見を活用し、関連学会への参加や文献調査を通じて、研究成果や学術情報の収集を行います。

4. 事業推進 【予算総額 8,370 千円】

前述の1、2、3の事業を円滑かつ適正に推進するため、事業推進費を設けて、着実に取り組めます。

また、昨年度に引き続き、インターネットを活用して当財団の事業紹介を積極的に行うとともに、情報提供および情報開示の充実に努めます。

5. 管理業務 【予算総額 6,414 千円】

財団運営に関する管理業務として、理事会、監事監査、評議員会を適切に開催・運営するとともに、その他の業務も円滑に遂行します。

また、公益財団法人としての責務を果たすため、行政庁への届出等の対応業務も確実に実施します。

以上